



TITLE:

歌詞に陸生無脊椎動物(昆虫類を除く)が登用された日本の唄

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. 歌詞に陸生無脊椎動物(昆虫類を除く)が登用された日本の唄. くろしお 2004, 23: 14-14

ISSUE DATE:

2004

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188198>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

# 歌詞に陸生無脊椎動物(昆虫類を除く)が登用された日本の唄

Shin Kubota: Terrestrial invertebrates excluding insects treated in the lyrics of  
Japanese songs

久保田 信

これまで海洋生物が歌詞に登用された日本の唄についてまとめた(久保田, 2003a, b, 2004)。これに続き、陸生生物の唄についてまとめているが、今回の第一報では、無脊椎動物(昆虫類を除いた)が登用された21曲についてまとめた。ただし、曲名には使用されているものの歌詞が入手できなくて詳細が不明なものを含めなかった。原生動物および無脊椎動物の各分類群ごとに、登用された唄をアイウエオ順に列挙した。また、それぞれの曲には、どれだけのタクサが登用されているかも示した。

下記に挙げたように、海洋動物に対して陸生無脊椎動物の歌詞への登用が桁外れに少なかった理由としては、第一に昆虫類を除いたことにあるが、日本が海洋国であることも影響しているであろう。だが、無脊椎動物自体が、今回登用されていたミミズ類、カタツムリ類、クモ類を除き、一般になじみが薄いものが多いことも関与しているからであろう。

## <原生動物> (5 タクサ-2 曲)

動物の動く: ゾウリムシ、オパリナ、ツリガ  
ネムシ、スピロストマム  
微小管はすべる: ゾウリムシ、レソシラス

## <扁形動物> (1 タクサ-1 曲)

さなだ虫: サナダムシ

## <環形動物> (1 タクサ-1 曲)

てのひらを太陽に: ミミズ

## <軟体動物> (3 タクサ-7 曲)

エスカルゴ: 巻き貝

かわいいあのこ: カタツムリ  
かたつむり: カタツムリ  
水中生活: タニシ  
チョコチョコかたつむり: カタツムリ  
走れ正直者: カタツムリ  
無言坂: 貝

## <節足動物> (3 タクサ-4 曲)

おべんとばこのうた: カニ  
何だろ誰だろ: テナガエビ  
春の小川: エビ  
水瓶座の夜: カニ

## <蜘蛛形動物> (2 タクサ-5 曲)

俺らいちぬけた: クモ  
さそり座の女: サソリ  
白い蝶のサンバ: クモ  
NIPPON のサザエさん: サソリ  
まほろば: クモ  
水瓶座の夜: サソリ

## 引用文献

- 久保田 信. 2003a: 海洋生物が歌詞に登用された日本の唄. くろしお, (22), 13-23.  
———. 2003b: 日本の唄の歌詞に登用されたクジラ目の曲とその心. 勇魚, (39), 57-61.  
———. 2004: 海洋生物が日本の唄の歌詞に登場する曲の補遺. くろしお, (23), 11-13.

京都大学瀬戸臨海実験所

(〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海)